

【2025年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	ハッピーライフtsunagu				
○保護者評価実施期間	2025年11月20日 ~2025年12月20日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0人	(回答者数)	0人	
○従業者評価実施期間	2026年1月15日 ~2026年1月31日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活していくうえで身の回りの事に重点を置きながら平日の余暇活動に取り入れている。	お買い物だったり、片付けなどは引き続き取り込んで活動している。合間時間の活用として、微細運動にも力を入れている。ルーティンとしてできるよう引き続き力を入れている。感謝の気持ちも伝えられるよう	自ら動けるようになって欲しい。感謝されるよこびを知って欲しい。
2	お出掛け。	電車企画、外食企画など大人になっていくにつれ、慣れておきたいものを活動内容として取り入れている。	保護者様からの願望を聞き、活動内容に採り入れていきたい。
3	一人一人に寄り添った支援活動	終わりの会の気持ちカードや本人の気持ちを理解した上で上手な話し方や接し方を一緒に考えて表現している。みんなと一緒に表現することにより楽しみながら表現できる機会を作っている。	一度にたくさんの気持ちを表すことが困難なためゆっくり時間をかけて取り組んでいる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童同士のやり取り。	手段あそびのルールが理解するのがむづかしい児童が多いため、おにごっこ、かくれんぼなどを平日楽しむことができない。土曜日や、大型連休などで、他事業所yと合流し	相手の気持ちを察した上での行動に気を付けるよう声掛けしている。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	送迎時、保護者とのやり取りはできている。保護者同士の交流の場として、子どもたちの頑張りが見れるようスポーツフェスタを開催している。	保護者カフェ、保護者が参加できるイベントの企画などを考えている。
3	保護者参加型の企画	保護者を交えた企画が出来ていない。	パーティー、運動会など一緒に楽しめる企画が出来たらと話合っている。